

# 令和4年度事業報告

令和4年度は、令和4年3月の第23回理事会の議決を経た事業計画に基づき、講演会、シンポジウム、助成、国内の支援活動、広報及び橋梁の診断業務等を実施した。

## 1 実施事業等

### 1-1 研修等

#### (1) 道路橋点検士技術研修会

道路橋の点検を担う技術者の更なる技術力の向上や点検結果の精度・信頼性の確保を図るため、令和4年度の道路橋点検士技術研修会は6回実施した。研修修了者は632名、平成6年度からの累計開催数は117回で、累計の研修修了者は15,798名となった。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対策を図りながら実施するため、令和3年度以降は1回あたりの受講者数を減少させていたが、年度後半では以前の受講者数（180名）で開催した。また、道路管理者を対象とした道路橋点検技術講習会を1回開催し、22名が受講した。

さらに、道路橋点検士委員会において道路橋点検士技術研修会と同等であると認定された他機関が実施する道路橋の点検に関する研修等の合格者等のうち、受験希望者に対し道路橋点検士補検定試験を1回実施し、2名が合格した。

#### (2) 道路橋点検士制度

登録状況は以下のとおり。

	登録者数		国土交通省登録資格
	令和4年度	累計	
道路橋点検士	474名	8,506名	平成27年1月登録 令和2年2月更新
道路橋点検士補	69名	1,323名	平成28年2月登録 令和3年2月更新

道路橋点検士及び道路橋点検士補の更新期限（研修修了した年度の翌年度から4年間）を迎える方を対象とする道路橋点検士更新講習会を開催した。令和4年度は平成27年度から30年度に登録された道路橋点検士と道路橋点検士補、及び平成30年度に登録を更新した道路橋点検士を対象とし2,797名が受講した。なお、新型コロナウイルス感染症対策及び受講者の移動負担の軽減を図るため、インターネットを活用したオンライン講習（録画講義の視聴、本人確認として受講中の顔映像と申請書の顔写真との照合及びキーワード回答）にて実施した。

## 1-2 自主研究

### (1) 橋梁保全に関する調査研究

AIを活用した道路橋メンテナンスの効率化に向け、平成30年度より実施している共同研究に引き続き参画し、主に診断AIについて、熟練技術者の経験的な知識等についての体系化等を行い、診断する技術者が判断するものを支援する「橋梁診断AIシステム」の開発を行っている。令和4年度はシステムの追加構築として診断する部材・損傷の追加を行った。

令和4年度に道路橋データベースの閲覧・取得サービスを開始したことにより、今後はデータベースの有効な利活用が促進されるよう、利活用の具体的なイメージを示していくことが必要であることから、「道路橋データベースの利活用に関する検討委員会」を立ち上げ、道路橋データベース利活用促進に向けての課題や今後の方向性について研究を開始した。

### (2) 国際会議への参加

例年、国際会議等に職員を派遣し、橋梁技術等に関する意見交換、情報収集を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き海外渡航での参加を取り止めた。

また、11月には神戸市で「第11回国際吊構造橋梁管理者会議」が行われ、対面で1名、バーチャルで1名参加した。

### (3) 賛助会員特別講演会の開催

平成25年度より賛助会員を対象として、橋梁調査会の取組みと時事テーマを取り上げた講演会を開催している。令和4年度は、4月に会場開催と賛助会員向けに録画配信というハイブリッド方式で、東京工業大学名誉教授の二羽淳一郎氏より「建設が進む新しいPC橋から」をテーマとして講演が行われた。

### (4) 橋梁シンポジウム

令和2年度から発展的に改組した「橋梁シンポジウム」は、講演テーマを、「変革期の橋梁維持管理」とし、基調講演は長岡技術科学大学名誉教授の丸山久一氏より「塩害を受けたPC橋梁のモニタリングと耐荷性能」と題し、11月に行われた。さらに、建設コンサルタンツ協会、日本橋梁建設協会、プレストレスト・コンクリート建設業協会、国土交通省道路局国道・技術課より講演が行われた。

開催方式は会場開催と録画配信のハイブリッド方式とし、会場参加者は98名、視聴希望者は737名となった。また、希望者216名へCPD登録のための受講証明書を発行した。

## (5) 助成

橋梁技術に関する研究開発に関して公募し、優秀計画と認められた4者に対して、当該研究開発に要する費用の一部を助成した。

- ・鉄筋コンクリートにおける塩害腐食鉄筋の非破壊検査結果と構造性能に与える影響の関係性評価
- ・機械学習を用いた漏洩磁束法によるコンクリート中の鋼材破断検知手法の開発
- ・繊維補強RC床版の数値解析による性能評価手法の開発
- ・鋼I桁橋の高耐震・高耐久化に向けた滑り構造の活用に関する研究

## 1-3 広報

### (1) 機関誌「J\_BEC レポート」の刊行

機関誌「J\_BEC レポート」Vol.18を刊行した。

### (2) 各種国内会議・イベント等への協力

各地方整備局等が主催する建設技術展等のイベントに参加し、橋梁の点検・診断技術や点検支援技術等に関する発表を行うとともに、展示を行った。

また、「建設技術フェア2022in中部」等への後援、「道路ふれあい月間」や熊本県で行われた「アジア・太平洋水サミット」等への協賛を行った。

## 2 その他事業

### 2-1 調査研究業務

#### (1) 橋梁の診断業務

直轄国道の橋梁に対して、国土交通省の「道路橋定期点検要領（平成31年2月）」及び「橋梁定期点検要領（平成31年3月）」に基づき、現地にて状態の把握を行った上で対策区分の判定及び健全性の診断を行う橋梁診断業務を実施した。

#### (2) 橋梁の補修・補強に関する業務

中国地方整備局管内の国が管理する橋梁について、過年度の点検・診断及び補修等のメンテナンスデータを把握・整理し、管内橋梁の橋種や部位毎の損傷傾向、進行状況等を把握するとともに、メンテナンスサイクルの高度化・効率化のための提案を行った。

#### (3) 総合評価落札方式による工事発注のための技術支援業務

四国地方整備局が実施する総合評価方式による橋梁工事について、入札評価手続きに関する支援業務を実施した。

#### (4) 新技術を活用した道路橋の点検支援に関する業務

令和4年度新技術導入促進計画における技術テーマのうち「橋梁の点検支援技術」について、当該技術分野に精通する専門家等からなる技術検討委員会の設置・運営等を行った。審議を通じて助言を得ながら技術の公募や確認（実証）を行うとともに、現場実装を促進するために実証実験を経た技術について点検支援技術性能カタログへの掲載を行った。

また、「軽量で耐久性に優れる新しい横断歩道橋の床版技術」については、横断歩道橋の新設又は修繕における設計及び施工にあたって、床版技術の選定及び調達において確認すべき事項や、確認する際の留意点等の参考となる「歩道橋床版の性能確認マニュアル(案)」を作成した。

#### (5) 道路橋維持管理施策に関する業務

道路メンテナンス年報の作成にかかる点検実施率、点検診断結果、判定区分Ⅳの施設の措置状況、さらに修繕実施状況等のデータ整理を実施した。

#### (6) 道路橋データベースに関する業務

全国道路施設点検データベース（道路橋）に係る機能の追加、改良を行った。

#### (7) 地方公共団体等の道路橋維持管理に関する支援業務

島根県等地方公共団体が実施している橋梁の維持管理全般を支援するために、橋梁の点検・診断、補修・補強に関する諸問題に対してアドバイスを実施した。

### 2-2 全国道路施設点検データベース（道路橋）の管理運営

令和3年度に国土交通省道路局より道路橋データベースの管理運営団体として指定され、広くデータベースが利活用されるよう準備してきたが、令和4年度には格納されているデータの閲覧・取得サービスと点検結果等登録のサービスを開始した。

閲覧・取得サービスは、諸元の一部と橋としての健全度など基礎的なデータを無償とし5月10日に、より詳細な点検の結果などの詳細データは有償とし7月12日に公開を開始した。有償データの閲覧・取得は46ユーザの利用があった。

登録サービスについては11月16日から開始し、国が管理する道路橋の定期点検結果等についてのべ164ユーザの利用があり、定期点検や第三者被害予防措置など11,780のデータが登録された。

### 2-3 人材育成支援業務

国土交通省及び地方公共団体の職員を対象とした橋梁の維持管理等に関する研修を支援した。

## 2-4 出版

「道路橋の補修・補強計算例Ⅱ」他の図書の販売を行った。

## 3 その他

### 3-1 会議の開催

#### (1) 理事会

第24回理事会 令和4年6月7日 (Web会議併用による決議)

決議事項：令和3年度事業報告(案)及び決算(案)について

第11回定時評議員会の招集について

報告事項：職務執行状況の報告について

第25回理事会 令和5年3月16日 (Web会議併用による決議)

決議事項：令和5年度事業計画及び予算について

報告事項：職務執行状況の報告について

#### (2) 評議員会

第11回評議員会 令和4年6月22日

決議事項：令和3年度決算の承認について

理事の選任について

報告事項：令和3年度事業報告について

## 事業報告に係る附属明細書

1. 事業報告の内容を補足する重要な事項  
該当する事項はありません。